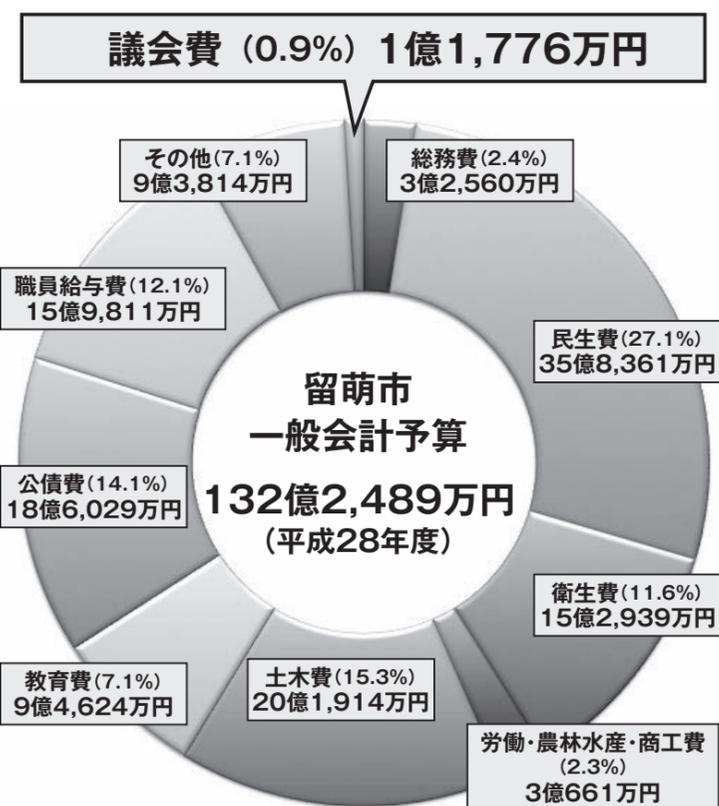


### 平成28年第1回定例会で可決した一般会計予算について

市の平成28年第1回定例会で可決した一般会計予算は、132億2,489万円で前年度当初予算と比べて4億8,397万円、3.5%減少しました。

また、市議会の予算は、1億1,776万円で前年度当初予算と比べて61万円、0.5%減少しました。市議会の予算が、市の予算に占める割合は0.9%でその主な内訳と予算に占める割合は次のとおりです。



- ①議員報酬・手当等 8,197万円 (69.6%)
  - ・議員報酬.....6,072万円
  - ・議員期末手当.....2,125万円
- ②共済費 2,461万円 (20.9%)
  - ・議員共済会負担金 2,461万円
- ③旅費 440万円 (3.7%)
- ④委託料 493万円 (4.2%)
  - ・会議録データベース化委託料.....346万円
  - ・議会報作成委託料.....70万円
  - ・議会一般質問FMラジオ放送業務委託料.....77万円
- ⑤その他 185万円 (1.6%)
  - ・通信運搬費、消耗品費、機器等購入費など

#### ●「行政視察」の再開について

「行政視察」とは、市政の発展と向上のため、常任委員会などで視察目的を定め、先進的な取り組みを行っている自治体などを訪問し、つぶさに見てまわり、関係者から説明を受けるなどの研修を行うことです。

市議会では「行政視察」の重要性を認識しながらも、市の財政状況を考慮し、予算を必要とする行政視察は自主的に実施していませんでしたが、各自治体の実情や現状を把握することの必要性から、新・財政健全化計画の終了を機に再開することに決定しました。

#### ●「政務活動費」の凍結について

「政務活動費」は、平成24年の地方自治法の改正に伴い、名称と交付の目的が「議員の調査研究その他の活動に資するため」に改められ、その経費の範囲や用途の透明性の確保などに対応する条例改正が必要となりました。

市議会では、27年度において留萌市議会政務活動費交付条例の一部を改正しましたが、28年度の政務活動費については、議会内での制度に対する認識を深める必要があると判断し、一年間凍結することとしました。

#### 第2常任委員会からの報告

##### 保育料の負担軽減について

平成28年2月18日開催の第2常任委員会にて、多子世帯・ひとり親世帯に対する保育料の負担軽減等に係る国の制度改正について説明がありました。28年度からの改正内容は、保育所保育料の軽減として、年収360万円未満相当の多子世帯を第1子目の子世帯を対象に第1子目の年齢制限を撤廃し、第2子以降の保育料を半額、第3子以降の保育料を半額、第3子以降を無料とします。

ひとり親世帯の保育所保育料を世帯年収360万円未満の場合、第1子は半額、第2子以降を無料とします。

幼稚園保育料の軽減内容は、世帯年収360万円未満相当の多子世帯を対象に第1子目の年齢制限を撤廃し、第2子以降の保育料を半額程度、第3子以降を全額補助します。また、ひとり親世帯の幼稚園保育料を世帯年収が270万円未満の場合、第1子より無償化。360万円未満の場合、第1子を半額程度、第2子以降を無償化とします。

# 議会です こんにちは

## もくじ

- P 8～9 ・留萌市議会議員の報酬等の額の改正について
  - ・平成28年第1回定例会で可決した一般会計予算について
  - ・各常任委員会からの報告
- P 10～12 ・第1回定例会一般質問項目
- P 13 ・予算審査特別委員会からの報告
- P 14 ・地方創生及び総合計画に関する特別委員会からの経過報告
- ・各組合議会からの報告
- P 15 ・こんなことが決まりました
  - ・連載 議会あの日あの日とき ほか

### 留萌市議会議員の報酬等の額の改正について

平成28年3月1日から14日まで開催された第1回定例会において、「留萌市特別職員給与と条例及び留萌市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例」の制定について提案され可決しました。

これは、留萌市特別職報酬等審議会からの答申を踏まえ、特別職員の給料額を引き下げるほか、期末手当の支給割合を一般職員に準ずるため、「留萌市特別職員給与と条例」の一部を改正しました。併せて留萌市議会の議員報酬額を引き下げるほか、期末手当の支給割合を特別職員に準ずるため、「留萌市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例」の一部を改正し、4月1日から施行されました。

留萌市議会の議員報酬額については、9年4月に

改定されて以来、条例本則の額は18年間据え置かれ、さらに財政事情を考慮し、特別職員と同様に16年度から自ら削減（議長：348,500円、副議長：306,000円、議員：280,500円）してきました。

新たに見直された給料・報酬額は次のとおりです。

#### ●条例による新旧の給料・報酬額

	条例による旧給料・報酬額	条例による新給料・報酬額	増減
市長	900,000円	830,000円	▲70,000円
副市長	720,000円	680,000円	▲40,000円
教育長	620,000円	580,000円	▲40,000円
議長	410,000円	380,000円	▲30,000円
副議長	360,000円	340,000円	▲20,000円
議員	330,000円	310,000円	▲20,000円

#### 第1常任委員会からの報告

##### ふるさと納税の返礼品について

平成28年2月19日に第1常任委員会が行われ、地域振興部より28年度の主要事業予算が報告され「留萌市応援寄附事業（ふるさと納税）」について説明がありました。ふるさと納税は、ふるさとに対する意識と誇りを育み、留萌の応援団の輪を広げることにより、新たな財源確保やマチの活性化を目指します。市は、ふるさと納税の寄附者に対し返礼品を見直し、34種類から選べるようにします。

また、郵便局での払込方法に加え、新たにクレジットカードによる決済を導入し、インターネット上で申し込みから納付までを行えるようになります。



▲返礼品の例「数の子」

# 平成28年第1回定例会 「股質問と答弁を」 ご紹介いたします

小野 敏雄 議員  
(萌芽クラブ)

問一 市政運営について

平成27年度で終了する新・留萌市財政健全化計画、市立病院改革プランの今後に向けた課題についての見解、収入確保策としてのふるさと納税について基本的な考え方と取り組みについて伺いたい。また、人口減少対策としての交流人口拡大に向けた取り組みと課題についてお聞きしたい。



▲多くの課題と取り組みが必要な市政運営（写真は市役所本庁舎）

答一 新・留萌市財政健全化

に膨れ上がるということをご理解いただきたい。  
問一 市役所窓口住民サービスについて



▲市役所1階にある市民課窓口

答一 以前、婦人の家で住民票や印鑑証明交付などの窓口を開設したが、即日交付ができなため、利用者が少なくなり廃止した。平成24年度から国の事業を活用して、もいプラザに消費者被害防止センターを開設しているが、住民票などの窓口交付については、人的配置や設備の費用対効果を考えると厳しいと判断している。

計画の課題は老朽化した公共施設の改築や長寿命化計画による施設維持、9年ぶりの赤字予算となった病院事業会計への支援などがある。市立病院の改革プランでは、今後も医師確保に取り組み、市立病院が担う医療に対する適切な病床配置を検討する。

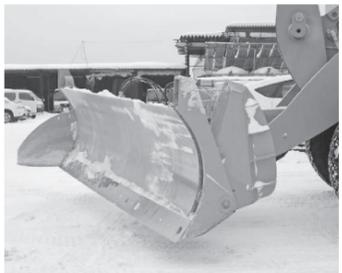
公共施設については、留萌市公共施設等総合管理計画の中で定期点検や診断の実施方針、耐震化の実施方針などを基に、個々の施設の個別計画を作成する。また、優先順位の高い施設については、コストの削減を図りつつ長く使い続けることを目指す。新たに市役所本庁舎を建設するには多額の費用を要する。中期財政計画で示した財政規律もあり、今後5年間では計画はできない。他の公共施設も含めて総合的に判断して結論を出したい。

坂本 茂 議員  
(無会派)

問一 市の除雪作業について

昨シーズン市に寄せられた「玄関先に雪を残すこと」への苦情は56件。苦情に対して市は「幹線を優先的に短時間で処理しなければならず、かき分けた雪がどうしても玄関先に残ってしまいます。玄関先や車庫前に置かれた雪は各ご家庭で除雪をお願いします」との回答があったと聞くが、「自分が除雪した後に、除雪車が置いていく硬い雪の塊をご家庭でお願いします」とは理不尽である。

他市では、除雪車の排土板にサイドシャッターを取り付けるなど、玄関先に雪塊を置かない努力が行われている例もある。市としても考える必要があると思うがいかがか。



▲除雪車の排土板に取り付けられたサイドシャッター

平成28年度に新たに3つの寄附金の区分を設け、それぞれに応じた返礼品を予定している。交流人口拡大に向けた課題は、海水浴を中心にした通過型観光であること、観光事業者が創業できないこと、また、外国人の宿泊数も他の地域と比べて少ない状況にあることである。

澤井 篤司 議員  
(萌政会)

問一 経済安定・活性化へのアプローチ

人口減・雇用対策には、実態経済の分析が基本になる。政策の効果を測定する数値として、産業別法人市民税と景気動向指数分析を提案する。計画から評価への流れを民間並みのスピードで行う必要があると思うがどうか。  
人口の社会減対策として、転入増加目標を達成させる具体的施策を伺いたい。ふるさと納税の積極的な取り組みを要望し、返礼品を広げる企業プレゼンテーションを提案する。転出抑制策として、市立病院の空病床エリアを区分所有化した民間売却・賃貸など

答一 サイドシャッターは、幅員の狭い生活道路では効果を発揮できないことや氷塊や硬い雪の作業に対する懸念から導入していない。

問一 子どもの体力・運動能力向上について

平成27年度実施の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果、市の中学2年生女子について、総合的には全国水準に近づいているものの20メートルシャトルランや握力が極端に低いなど危惧され、一校一実践の努力などとともに、スポーツや遊びが日常的にできる環境整備が急がれるのではないか。

冬期間、子どもたちが手軽にスキーができて雪と親しむこともできる場として、神居岩スキー場の再開を検討する必要があるのではないか。  
答一 神居岩スキー場は、留萌体育協会、留萌スキー連盟との協議のもとで開放しているが、今後の在り方については再度協議をしていきたい。

土田 悦也 議員  
(萌政会)

問一 船場公園指定管理者選定について

は考えられないか。  
答一 人口減・雇用対策については、留萌商工会議所と意見交換し、速やかな反映に努めたい。新しい農業のほか、子育て環境の充実を図りたい。返礼品を増やす準備をする。病床削減後の施設の利活用は、地域にとっても有効と考えており、多くの情報を収集したい。



▲現状を打破する方策はたくさんある。持続を目指した改革を

問一 地域内循環経済を目指すための戦略と方策について

地域内でお金を回す仕組みが重要であり、道内でも実績がある振興基本条例の制定を望む。各種の経済補助金があるが、効果はどうか。先出し方式ではなく、企業育成の観点から税データを活用した新たな後出しもしくは、インセンティブ方式を提案する。

今年2月19日の第1常任委員会において、指定管理者選定過程で応募手続きの瑕疵が遅れたことに対する説明はあったのか。登記簿謄本には10年前に辞任していた役員の名前が記載されたままだったが、重大な問題ではないのか。役員変更にかかる登記変更手続を10年間放置していた法人は、審査項目の3にある「事業計画書に沿った管理を行う人員、資産その他の能力を有していること」に違反している。これは商業登記においても義務違反であり、それに伴い申込期限の12月30日時点では登録免許税が完了していない。申し込み規定2の「留萌市税及び消費税等を滞納している団体又はその代表者」に該当するものであり説明を願いたい。  
答一 登記簿謄本の写しは、申し込み資格にある「団体」であることを確認するための

答一 現在は、目的に対する補助となっており、一定の成果を上げていると考えている。  
新たな補助政策については、補助金などの制度の新設に関する規定の定義などから難しいと認識する。

鶴城 雪子 議員  
(萌政会)

問一 中期財政計画について

今後再び財政の危機的状況に陥らない財政運営を進めるために策定した、5年間に及ぶ「中期財政計画」によると、平成28年度と32年度は黒字見込みだが、29年度から31年度にかけて3年間で1億8千万円の赤字が見込まれている。この主な要因をお聞きしたい。また、始めから赤字が見込まれているのなら、その赤字見込みを補うためにどのような施策を考えているのかお伺いする。  
答一 5年間の見通しの中で不安感が残る部分で病院の問題の話をしたが、この5年間で必要最低限の支出をどうしてもしなければならぬ部分については、職員の退職金などであり、これらが一気



▲マチの新しいシンボルとして期待される船場公園

戸水美保子 議員  
(留萌公明党)

問一 笑いを活用した健康の取り組みについて

# 予算審査特別委員会からの報告 (一部抜粋)

## 総務費

**Q**地域おこし協力隊に期待する効果と、どのような支援を行うのか

**A**都市部から来た若い隊員の斬新な考えや課題解決の取り組みを実践し、最終的に市内への定住などを目的としています。また、さまざまな資格の習得についても本人の要望を踏まえた中でできる限り支援していきます。

**Q**ホームページリニューアル事業の入札対象と入札方法は

**A**市内・市外の業者によるプロポーザル方式の入札で決定したいと考えています。

**Q**マイナンバー制度における写真付マイナンバーカードの申請状況は

**A**通知カードについては、すでに99%近くが市民の手元に届いています。

写真付マイナンバーカードの申請は現在1,505件で、そのうち交付済みは247件となっています。申請されたマイナンバーカードができあがった際は市からお知らせをして交付いたします。

**Q**地域の資源を生かす再生可能エネルギーの進展について

**A**留萌市に合った再生可能エネルギーの有無について課題などを含め研究しているところです。

**Q**平和祈念事業の新たな取り組みとして市民への講演会などを開催する考えはあるのか

**A**平和への取り組みとして、広島・長崎原爆パネル展、アニメや記録映画などの上映、戦争に関する図書等の展示や貸し出しなど、平和祈念式典の一連の流れとして毎年実施しています。また、セミナーや講演会については、平和祈念式典事業の中でどのように取り組めるかを研究していきます。

## 民生費

**Q**幼児療育通園センターの増員によってサービスはどのように充実するのか

**A**現在86人のさまざまな障がい

を持つ児童が利用していますが、28年度からは相談業務を担う児童発達支援管理者を中心に療育相談経験のある正職員、作業療法士などの増員配置により、小児リハビリテーションなどさまざまなサービスの提供を図ります。

**Q**民生児童委員の任期と担い手の育成への対応は

**A**現在79人の委員が活動をしています。任期は3年間で今年改選期を迎えます。全国的に担い手不足と言われていますが、今後も調査、研究を行い、対応していきたいと考えています。

## 衛生費

**Q**環境美化週間などの際に行った町内会のごみはどのように収集するのか

**A**事前に実施日をご連絡いただければ刈り取った草やごみなどを収集します。市への連絡を忘れてしまった場合でも町内会などでの事業に限り、後日連絡をいただくことで臨機応変に対応いたします。

## 農林水産費

**Q**農業を核とした産業創出プロジェクトにおける幌糠町での水耕栽培の今後の可能性について

**A**試験栽培として市では今までなかった水耕栽培での可能性とリスクの実証実験を行っている段階です。また、新素材を利用した根菜類の栽培試験も続けていきたいと考えています。

## 商工費

**Q**外国人向けの外国語パンフレットを作成するとあるがどのように使用するのか

**A**今まで留萌市には外国語パンフレットがなかったため、観光施策を推進するために作成します。まず英語版と中国版を作成し、外国人を対象とした旅行エージェントのPRの場や市内の宿泊施設などに設置して活用していきます。

**Q**水産加工品消費拡大推進事業の概要について

**A**今年から5月5日が「かずの子の

平成28年3月9日から11日まで、予算審査特別委員会を開きました。

日」に制定されたことから、生産量日本一を誇る留萌市では、消費拡大に向け、さまざまな催事に参加しPRに取り組みます。また、子どもたちにもふるさとの産業として認識を深めてもらうために給食での提供も検討していきます。

**Q**まちなかに賑わいを創出するための商店街振興組合連合会振興対策事業費補助金の目的と使い方について

**A**商店街の賑わい交流創出などに活用していただくための事業経費です。店舗数の減少など厳しい環境ですが、活気ある商店街づくりのために知恵を出し合いながら進めていきます。

## 土木費

**Q**旧北海道合板解体工事の手續きの方法と着工時期について

**A**平成28年度に入ってから、入札のための手續きを行います。積算期間を要するため早くても5月に入ってから入札、解体工事自体は雪が降るまでに完了する計画で進めていきたい。

## 教育費

**Q**温水プール「ぶるも」内のスタジオの想定される利用方法は

**A**エアロビクスやヒップホップダンスなどの運動教室による貸館利用を想定しています。

**Q**市内の小中学校に導入されたデジタル教材の効果について

**A**デジタル教材をいかに活用するかが大きな課題であるため、直接学力の向上に繋がるとは捉えていませんが、集中力の向上と楽しみながら授業を進めることができるといった効果が報告されています。

**Q**音楽合宿に付随したシンポジウム助成補助金を活用した事業の日程と内容について

**A**6月の開催を予定しています。音楽を通じたまちづくりと題した講演会やパネルディスカッション、地元高校生のジョイントコンサートなどの内容を予定しています。

**問**中学生に対するピロリ菌の検査・除菌について  
日本人の死因の上位である「胃がん」を予防するためには、その原因とされるピロリ菌の除菌が有効だと言われている。  
なかでも、身体への影響が少ないと言われている中学生のうちに除菌すること



▲ピロリ菌の顕微鏡写真

将来の理想的なまちの姿を実現するためには、公共施設の建設を中心とした将来を見据えたまちづくりと、都市機能の集積(市庁舎・文化センター・公民館・スポーツセンター・勤労者体育センター)  
将来の理想的なまちの姿を実現するためには、公共施設の建設を中心とした将来を見据えたまちづくりと、都市機能の集積が不可欠と考える。  
築後53年経過した市役所本庁舎は、老朽化が進み、耐震性も低く狭あい化している現状を踏まえ「建て替え計画検討会議」の設置に向けた方向性を示すべきでは。  
文化センター、中央公民館、スポーツセンター、勤労者体育センター、勤労者体育センター、勤労者体育センター、勤労者体育センターの現状と今後の進め方を伺いたい。

**問** 将来を見据えたまちづくりと都市機能の集積(市庁舎・文化センター・公民館・スポーツセンター・勤労者体育センター)  
将来の理想的なまちの姿を実現するためには、公共施設の建設を中心とした将来を見据えたまちづくりと、都市機能の集積が不可欠と考える。  
築後53年経過した市役所本庁舎は、老朽化が進み、耐震性も低く狭あい化している現状を踏まえ「建て替え計画検討会議」の設置に向けた方向性を示すべきでは。  
文化センター、中央公民館、スポーツセンター、勤労者体育センター、勤労者体育センター、勤労者体育センターの現状と今後の進め方を伺いたい。

**坂本 守正 議員**  
(民主クラブ)

来、胃がんは100%かからず、家族への感染も防ぐことができると言われていたことから、北海道医師会からも政策要望が出ていると聞く。市も検討してはどうか。  
**答** まだ実施している市町村が少ないので調査している。



▲老朽化や低耐震性などにより建て替えに向けた検討が必要な公共施設

**答** 都市計画マスタープランに掲げた将来都市構造の概念とともに平成28年度公表予定の、「留萌市公共施設等総合管理計画」に掲げる施設の統廃合や集約化または延命化などを通じて、まちづくりを考えていく必要がある。今後は「市公共施設等総合管理計画」に沿った施設の適正配置を検討していく中で「まちなか集約」などを考えていく。  
市役所本庁舎は、耐震化や建て替えについては検討が必要な建物であることは認識している。老朽化の度合い、ほかの公共施設を含め、優先度などから総合的に判断し、必要に応じ検討する。  
文化センターなど4施設については、建て替え検討が必要な時期にきていると判断。28年4月を目途に検討に向け

**村山ゆかり 議員**  
(萌芽クラブ)

**問** 子どもを産み育てやすい環境  
市の少子化対策では、安心して妊娠・出産できる環境を整備すべき。市立病院の産婦人科の現状と今後について聞きたい。

病児保育事業実施に向けた検討状況と今後、事業実施する予定はあるか。  
**答** 平成17年度から出張医体制となり、常時2人の医師がいたが、昨年9月から出張医1人体制となり帝王切開、緊急手術の受け入れができなくなり、正常分娩のみの対応となった。医師派遣元の札幌医科大学で診療体制復活に向けた検討がされており、早い段階で整備されることを期待している。  
病児保育事業は、看護師などを常時配置しなくてもよいとするなど国の実施要綱が、4月を目途に改定予定。場所や人員確保が難しいが、国の動向を注視しながら、実施に

た委員会を立ち上げ、33年4月を目途に「建て替えに向けた基本構想」を策定する。

留萌港の利活用策に向けた魅力発信  
苦前町の風力発電用風車を留萌港から陸揚げしたと聞いたが、今後予定される留萌港の利活用策を伺いたい。また、韓国へのトドマツ材輸出の現状と課題について伺いたい。



▲留萌港から韓国に輸出されるトドマツ材

**問** 故障した風車整備のため、輸入機材の陸揚げを行つた。今後段階的に対応年数(約20年)を迎える設備の更新のため、持続的な陸揚げが見込まれる。風車のほか、政府輸入米や融雪剤、小麦の持続的な取り扱いが期待される。  
トドマツ材は、平成28年3月中に韓国、中国にそれぞれ2千5百トン輸出予定。課題は、韓国や中国の経済情勢悪化で将来的な見通しが立たないことなどが挙げられる。

# こんなことが決まりました

平成28年第1回定例会 3月1日～14日

第1回定例会が14日間の会期で開催され、平成27年度の各会計補正予算ならびに28年度の各会計予算を含む議案35件、意見書11件などを審議しました。

## 【議案】

- 留萌市一般職員給与条例及び留萌市一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市幌糠農業・農村支援センター設置条例制定について
- 留萌市体育施設条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市過疎地域自立促進市町村計画の策定について ほか29件 …………… 原案可決
- 留萌市教育委員会教育長の任命について …………… 同意

## 【意見書案】

- 給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める意見書
- 主権者教育の確立と投票機会の拡充を求める意見書
- 地域の中小企業への支援充実を求める意見書
- 地域公共交通維持のための財政支援の拡充を求める意見書
- 児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書 ほか6件 …………… 原案可決

## 編集後記

市議会議員って、どんな毎日をお過ごししているのかな。年に4回の定例会で一般質問している以外にどんな会議があるのだろう。

できるだけ情報を公開し、分かりやすい議会だよりを目指していますが、議会用語や堅苦しい表現が多く、まだまだ課題が山積しています。

留萌市議会としてお知らせしたいこと、市民が知りたいことに乖離があるかもしれませんが、少しずつその差を縮めながら、開かれた議会を創りあげていきます。

16人の議員それぞれ、信念を持って、精力的に活動していますので、これからも市民の声を聴かせてください。

よろしく願いいたします。(ゆ)

## 議会 あの日あのとき 連載その3

行政視察は、議員が他自治体などの先進的な取り組みをしている地域へ外向き、その地域の行政・経済・文化などの実情を習得し、政策に生かしていくために有効な活動です。

留萌市議会は、常任委員会の行政視察を市の財政を考慮し、凍結・実施していませんでしたが、先駆的に進んでいる自治体などの政策立案までの課題と実施内容を把握する必要性から、新・財政健全化計画終了を機に再開を決め、平成28年度は、常任委員会視察を中心に実施していくことにしました。

野崎良夫議長は当時を振り返り「以前は、市の所管職員も一緒に視察し、お互いの立場から見聞を広げました。政策を立案・執行するためにも共通認識を持つことは大変有意義。担当課の予算(旅費など)によりますが、共に行政視察できることを願っています」と、今後の行政視察の展望を話してくれました。



▲仙台市の「中山e-まちづくり」を視察する産業建設常任委員会(平成15年)

## 地方創生及び総合計画に関する特別委員会からの中間報告

平成27年留萌市議会第3回臨時会(6月29日)において、地方創生及び総合計画に関する調査研究および審査を行う『地方創生及び総合計画に関する特別委員会』が設置されました。

この特別委員会は、留萌市の人口減少の克服に向けた「人口ビジョン」や「地方版総合戦略」の策定に向けた議会議論及び第5次留萌市総合計画(19～28年度)の検証と第6次留萌市総合計画の政策または施策の実現に向けた提案をするための委員会です。委員長に珍田亮子議員、副委員長に村山ゆかり議員を互選しました。

さらに、地域住民生活等緊急支援のための交付金(地方創生先行型)に対処するため「上乗せ交付金等検討チーム」を設置、交付分タイプIIについて、地方創生もい市民会議で出された音楽合宿誘致事業を中心に、地方創生にふさわしい事業展開として構築すべきとの結論に至り、留萌市人口ビジョンおよび総合戦略の策定など、4項目について意見として付記して提言書を提出しました(7月31日)。

交付分タイプIについて、市が検討・構想を進めている「フリーズドライ機」および「飽和蒸気調理機」の導入による事業化については提出期限が迫っていることから、議会が独自に起案し理事者に提言する



状況にはないとの結論に至り、4項目について議会からの意見として報告書を提出し、8月17日をもって解散しました。第17回の特別委員会(1月18日)におきまして、第5次総合計画の検証を進めるにあたり、各事業などに精通している常任委員会の機能を活用し、第1・第2各常任委員会の構成メンバーによる第1分科会、第2分科会を設置し、各常任委員会の委員長を座長としました。

現在、市の将来ビジョンを描き、実現に向けてまちづくりの方向性などを総合的にまとめた留萌市総合計画の第5次計画の検証について、各分科会で議論しています。

### <これまでの会議回数>

特別委員会	20回
上乗せ交付金等検討チーム	8回
第1分科会	2回
第2分科会	5回

## 留萌消防組合議会からの報告

平成28年第1回臨時会を2月8日、第1回定例会を3月16日に開催しました。

第1回臨時会では、留萌消防組合職員給与条例の一部を改正する条例制定について可決。第1回定例会では、消防庁舎改築事業並びに消防車両更新整備について行政報告を受けました。

また、平成27年度留萌消防組合補正予算(第3号)、平成28年度留萌消防組合予算、留萌消防組合職員給与条例の一部を改正する条例制定について可決。留萌消防組合として新制定条例である「留萌消防組合情報公開条例制定について」「留萌消防組合個人情報保護条例制定について」「留萌消防組合情報公開・個人情報保護審査会条例制定について」の3件を可決しました。

さらに、留萌消防組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例制定についてなどを可決。留萌消防組合議会会議規則の一部を改正する規則制定について可決しました。

今年度も消防力の充実強化の確立に議会もしっかり努めていきます。

## 留萌南部衛生組合議会からの報告

留萌南部衛生組合議会(留萌市・増毛町・小平町)の平成28年第1回協議会を2月2日に開催。プラ製容器・紙製容器分別状況について報告を受けました。説明によると、3市町合わせて汚れたプラ製容器や不適正なプラ製容器がまだ多く、適正は66.8%でした。

28年度予算案と条例制定、規則の制定について協議し、新年度は、歳入歳出予算総額それぞれ、6億9,118万9千円で、負担金は、留萌市が3億4,153万6千円、増毛町が9,872万9千円、小平町が9,307万9千円と、27年より減額しました。

また、最終処分施設において昨年6月から3カ月間、シリカ濃度が高く水処理を停止してから再稼働までの経過と水質分析結果などの報告を受けました。

その後、第2回協議会(2月19日)を経て、2月29日の第1回定例会で、28年度予算と留萌南部衛生組合職員取扱条例の制定などを承認しました。



▲箱ティッシュのフィルムは取り外さない不適正